

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立城陽支援学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	本校高等部運動系部活動生徒 46名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 (部活動)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>・地域にある運動クラブとスポーツを通して交流し、地域社会に積極的に参加し、生涯スポーツを意識し、将来の共生社会に寄与する資質を養う。</p> <p>・卓球のプレースキルを向上させ、校外での競技会の参加を推進しながら、各生徒の生涯の余暇へとつないでいく。</p> <p>・スポーツを通して自信をつけ、自己肯定感を高め、進路実現のための精神的な支柱としていく。</p>
5 取組内容	<p>例年、取り組まれていたスポーツ大会（練習会を含む）が新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止されたことにより、ほぼ校外のスポーツ関係の参加ができなかった。</p> <p><中止になったために参加できなかった大会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立学校スポーツ交流会（10月3日） ・京田辺市、城陽市それぞれの陸上大会（3月14日） ・城陽市卓球大会（1月9日） ・久御山町、城陽市マラソン（1月31日・3月14日） ・京田辺レーヴチャレンジカップ（フットサル大会）（6月） <p><参加をした大会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全京都障害者スポーツ大会 陸上大会（陸上部員＋希望生徒）11/28（土）25名

	 <p style="text-align: center;">卓球大会<参加予定>（卓球部員）</p>
<p>6 主な成果</p>	<p><陸上大会>（卓球大会は未実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「走る・投げる・跳ぶ」競技に「挑戦」をキーワードに取り組んだ。今年度は他校生との交流も全くない中で、本大会では他校生の様子も見ることができ、有意義であった。また仲間を応援したり、励まし合ったりと、チームとしてのまとまりもうかがえた。 <p><卓球部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに購入した卓球台により、さらに充実した練習ができた。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの大会が中止になる中で、生徒のモチベーションが下がらないよう、指導者は「ほめる」ことを意識した。 ・地域のマラソン大会が中止になったことと合わせ、本校での持久走大会も中止にしたが、それに替わる「タイムトライアル」を実施し、自己の記録更新を目標に据えた。結果は男女別に上位を表彰する形をとった。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染の予防を徹底しながら、スポーツ庁や京都府のテーマに沿う内容をいかに企画していくか。 ・地域や他校との交流が制限されている中で、スポーツへの関心が薄れないよう、練習の成果を発揮できる機会をいかに作っていくか。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例年の企画として前述の大会が実施されれば、積極的に参加する。 ・他校との交流をする。特に、ソフトボール大会は近隣校と合同企画できないか、調整をする。 ・昨年度からの「ボッチャ」を交流企画として推進する。